

『枠組みの大切さ』

先進的ケア・ネットワーク開発研究分野 修士1年 中田和宏

安發明子様

ご講義ありがとうございました。

安發様の言葉で「問題を解決するためにアクションしなかった。知っていながらアクションしない人は被害者が出続ける構造の加担者という考えになる」という言葉にハッとさせられました。

同じ制度でも、理念を実現できる枠組みをつくるのが大切だと仰っていました。本当にその通りだと思います。日本では福祉の枠組み、PDCA ができていないと思います。いい仕事ができる枠組みを考えることで、次の世代にも受け継がれていく。誰かが枠組みを考えないと、様々な問題は未解決のままになってしまう。こんな状況を打開するためには他責思考ではなく一人一人自責思考で考える必要があるのではないかと思います。

自殺は個人の問題ではない、政治的な問題というお話があったときに、私は介護施設に勤務しているので介護施設に置き換えた場合、職員の問題は組織的な問題があると言い換えることができるのではないかと思います。小さな問題を解決していくことが結果大きな問題も解決していくことに気づかされました。小さな問題に向き合っていなかった自分自身に気づくことができました。対処療法ではなく問題が起きたときの背景に目を向け根本解決していくことが大切だと学びました。

最後にこの講義を聞いて、フランスとの違いに驚かされ、日本は今後どうなっていくのか心配になりました。